

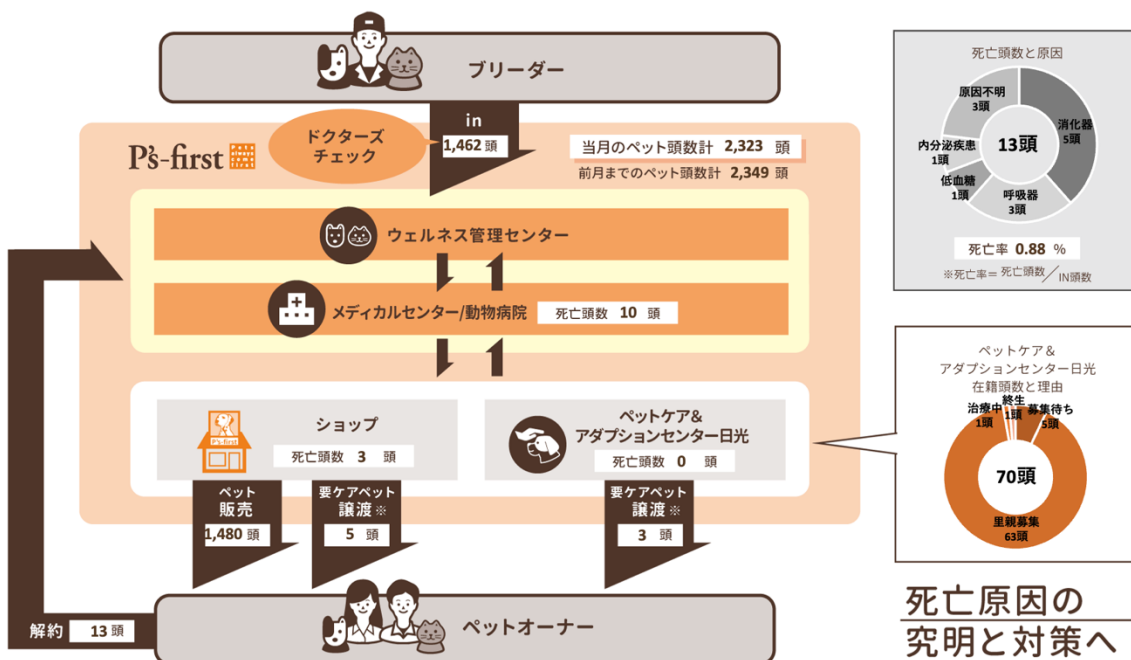
2025年3月27日  
 ペッツファーストホールディングス株式会社

ペッツファーストグループ マンスリーペットレポート  
 2025年2月度

“Pets always come first”を理念に掲げるペッツファーストホールディングス株式会社（本社:東京都目黒区、代表:正宗 伸麻）は、傘下のペットショップ「P's-first」の2025年2月度における流通過程の重要指標をご報告いたします。

■2025年2月度の流通過程における重要数値の結果報告

ペッツファースト マンスリーペットレポート 2025年2月



※要ケアペット・・・お迎え前に疾患が発見され、メディカルセンター/動物病院で治療後に十分な経過観察期間を経て譲渡する、継続的なケアや検査が必要なペット。

【契約ブリーダーとの取引について】

当社グループは、オークションなどの第三者を経由せず、すべてのペットを全国の信頼できる契約ブリーダーから直接取引しています。2025年2月1日から2月28日までにペッツファーストグループが取り扱ったペット、すなわち契約ブリーダーから引き受けたペットの頭数が1,462頭、そのうち犬が71.5%、猫が28.5%です。なお、2月度に引き受けたペットたちは266名の契約ブリーダーと取引いたしました。

また、ペットの心身の健康を守ることおよび、ペット業界の日齢偽装問題へ対する対策として、当社で取引するペットの取引日齢を、法令で定められた生後57日齢以上から60日齢以上へ段階的に引き上げることを本年4月23日のニューズレターで発表しました。<sup>\*1</sup> 当社2月の取引内における生後60日齢以上の割合は、95.3%でした。

\*1：2024年4月23日発行ニュースリリース

[ペット販売の生後8週齢（56日齢）規制に対する私たちの考え方～生後60日齢での取引基準への引き上げに関するお知らせ～](#)

2025年2月度 契約ブリーダーとの取引について P's-first



集計期間：2025年2月1日～2月28日

【ショップでのペット販売について】

P's-firstでの2月の販売頭数は1,480頭、内訳は犬が76.4%、猫が23.6%でした。販売時点での日齢平均は生後104日齢、店舗に在舎を始めお客様に迎えられるまでの平均期間は43日間でした。

また、ペットの衝動買い防止と責任ある終生飼育を推進するために、日頃お客様と接する際のご説明を徹底するだけでなく、実際にペットをお迎えされるすべてのお客様に対し、日頃の「ペットのお迎え前セミナー」の受講をお願いしております。<sup>\*2</sup> セミナーを受講いただいた1,480組の方のうち、ペットのご契約をされたお客様は100.0%、ご契約をお見送りされたお客様は0.0%でした。なお、ペットのお迎え前セミナーは、[こちら](#)からご覧いただけます。

\*2：2025年2月26日発行ニュースリリース

[ペットファーストは、ペットをご購入される前のご契約者様へ「ペットのお迎え前セミナー」を実施しています。～ペットの衝動買いを抑え、責任ある終生飼育のために～](#)

2025年2月度 ショップでのペット販売について P's-first



集計期間：2025年2月1日～2月28日

【譲渡/ペットケア&アダプションセンター日光の在舎について】

販売前に疾患が発見され治療を行った上で、継続的なケアや検査などが必要となったペットは、“要ケアペット”としてP's-firstの店舗や、当社グループのケア施設「ペットケア&アダプションセンター日光」

で里親探しをします。P's-first 店舗から 5 頭・ペットケア&アダプションセンター日光から 3 頭の計 8 頭を、里親様へと譲渡いたしました。

また、ペットケア&アダプションセンター日光には 2 月末時点で 70 頭が生活し、主に治療を終えた、または回復期にある 63 頭が里親を募集中です。なお、5 頭は里親探し代行サービスの猶予期間中のため募集待ち、1 頭は治療中、1 頭は終生飼養を行う予定です。

#### 【解約について】

2 月度には 13 頭が解約となりました。なお、返還されたペットは、当社がペットの将来に責任を持ち最良のご家族を探します。返還されたペットのうち、9 頭が既に新しいご家族に迎えられました。当社に  
いる残りの 4 頭のうち、2 頭がペッツファースト動物病院と当社メディカルセンターにて治療中、2 頭は P's-first にてご家族を探しています。

#### 【死亡事故について】

病気や疾患などが発見され、当社メディカルセンターやペッツファースト動物病院内等で治療を施したものの、残念ながら発生した死亡事故数は 10 頭、店舗においての死亡事故数は 3 頭、ペットケア&アダプションセンター日光内での死亡事故数は 0 頭でした。

なお、店舗で亡くなってしまった 3 頭については、2 頭は体調異変が見られてすぐに提携動物病院を受診したものの、容体急変により残念ながら治療中に息を引き取ってしまいました。また、1 頭は夜間の体調不良から息を引き取ったことが予想されます。現在もペットの体調に不安がある場合は早急な獣医師への相談、動物病院の迅速な受診ができるようマニュアル化しておりますが、より一層獣医師との連携を強化することで、こういった事故の発生がなくなるように尽力してまいります。

全体の死亡事故数は 13 頭、死亡率として 0.88%、亡くなったペットの死亡時時点での日齢平均は生後 90 日齢でした。亡くなってしまったペットはメディカルセンターを経由し、田嶋山九品院にて埋葬供養を行いました。

#### 【当社の在舎頭数について】

2 月末時点で当社に在舎するペットは 2,323 頭です。なお、1 月末時点では 2,349 頭でした。

**2025 年 2 月度において、ペッツファーストグループで取り扱ったペットのうち、いわゆる売れ残りや行き先が分からないペットは一頭も存在しません。**

#### ■ 2025 年 2 月度におけるペットの死亡事故と対策

ペッツファーストグループは経営理念に沿い、“ペットの死亡事故ゼロ”を目指して当社獣医師を中心に「死亡事故ゼロプロジェクト」を社内で運営し、社内の病気の発生や死亡原因を獣医学に基づき分析して再発防止に向けての対策を講じています。

#### 【死亡事故ゼロプロジェクト リーダー 林田獣医師コメント】

2025 年 2 月の死亡事故数は 13 頭（前月比+4 頭）、死亡率は 0.88%（前月比+0.36%）でした。なお、死亡原因の内訳は、消化器疾患が 5 頭、呼吸器疾患が 3 頭、低血糖が 1 頭、内分泌疾患（疑い含む）が 1 頭、原因不明が 3 頭でした。



東京メディカルセンター  
林田 真琴 獣医師

2月度は前月と比較し、残念ながら、死亡頭数・死亡率ともに増加する結果となりました。2月は気温の低い日が多く、特に体格の小さなペットは体調を崩しやすかったことが考えられます。これから春に向けて気温が上がることで予想されていますが、来冬に向けた改善策を死亡事故ゼロプロジェクトにて検討の上、実施してまいります。3月は寒暖差の大きい日が続いておりますので、気温が安定するまではペットがいる環境の温度・湿度管理の徹底を再度周知いたします。

2025年度は死亡事故ゼロの実現に向けてより一層の対策強化を図っていきたいと考えており、2024年度に散見されていた臓器疾患の発生については専門獣医師からの意見の聴取を実施し、その原因や機序について今後、究明を続けていくこととなっております。また、体調不良のペットの迅速な治療のため、ペットファーストグループ内のペットファースト動物病院との連携もより一層強化すべく、各院長との面談も随時実施しています。こういった取り組みについても今後、随時発信することができればと考えております。

寒暖差からペットの体調不良が起こりやすい時期が続きますので、些細な体調変化も見逃すことのないよう、グループ丸となったペットの死亡事故ゼロを目指してまいります。

### ■2025年2月度のペットの治療と、回復したペットの行方

死亡事故ゼロの実現には、疾病の予防だけでなく、疾病を患ってしまったペットの命を獣医療によって救うことも不可欠です。そのような場合、当グループでは、ウェルネス管理センターとペットファースト動物病院で治療を行い、2月度には55頭のペットが重症の状態から回復いたしました。治療後に回復したペットの一例を下記にご紹介します。

#### 【直腸脱/ペットファースト動物病院 代官山高度医療センターにて治療】



ペットファースト動物病院  
代官山高度医療センター  
別府 雅彦 獣医師

1か月前から直腸脱が見られ、手で押し戻してもすぐに出てきてしまう状態を繰り返していました。

そこで、開腹手術で大腸をおなかの中に引き戻し腹壁に糸で縫い付けて腸が肛門から出ていかないように固定する、結腸固定術を行いました。手術後は直腸の逸脱は無くなり、数日経過を見ても再発がなく、便の状態も安定していたため東京ウェルネス管理センターへ戻りました。



直腸脱より回復したマンチカン

現在は東京ウェルネス管理センターで療養を行っており、体調が安定次第、里親探しを行う予定です。逸脱していた腸の範囲が長く、一度の手術で治まるか心配していましたが、無事に治ってくれて安心しました。

当社グループでは病気の予防と獣医療によってペットの命を守り、私たちが受け入れたすべてのペットの家族を見つけて幸せなペットライフを送れるよう、今後も改善を続けてまいります。同時に、情報を開示し続けることによって、あるべき健全なペットショップ運営を行います。

### ■会社案内

【会社名】 ペットファーストホールディングス株式会社  
【所在地】 〒153-0063 東京都目黒区目黒 1-24-12 オリックス目黒ビル 9F  
【資本金】 1億円

【代表者】代表取締役社長 COO 正宗伸麻

【従業員数】1,209名（うち獣医師66名 愛玩動物看護師65名※業務委託含む）2025年2月末時点

- 公益財団法人日本補助犬協会と連携し13頭の聴導犬と1頭の介助犬を育成しユーザーへ提供
- 動物病院 URL (<https://pfirst-ah.jp/>)
- ニュースレターアーカイブページ (<https://www.pfirst.jp/newsletter.html>)

<本掲載関連記事>

- ・vol.1 ペットの命を守るための取り組み～売れ残ったペットはどうなるのか
- ・vol.3 ペッツファースト初の医療センター「ペッツファースト動物病院 代官山高度医療センター」を開院
- ・vol.4 「ペッツファースト動物病院 福岡大野城医院」開院～なぜ動物病院を拡大するのか～
- ・vol.5 第1回譲渡会を開催～なぜペットケア&アダプションセンター日光を開業したのか～
- ・vol.6 私たち動物病院グループの高度医療への取り組み
- ・vol.7 日本獣医生命科学大学との猫の難病 FIP の共同研究の取り組み～不治の病を治る病気へ～
- ・vol.8 ペットの遺伝子病対策の取り組み～重篤な遺伝子病で苦しむペットを生み出さないために～
- ・vol.9 2023年マンスリーペットレポート総括～売れ残りを一頭も出さない、病気や死亡事故根絶のための取り組み～
- ・vol.10 ペット販売の生後8週齢（56日齢）規制に対する私たちの考え方～生後60日齢での取引基準への引き上げに関するお知らせ～
- ・vol.11 ペット業界におけるペットオークションやブリーダーなどの日齢偽装問題への対策～「生後60日齢以上への取引基準引き上げ」に関する進捗報告～
- ・vol.12 すべてのペットが幸せな生涯を送るための取り組み～いわゆる衝動買いや飼い主を失うペットをゼロにするために～
- ・vol.14 ペッツファースト動物病院「FIP 予防検診」開始のお知らせ～不治の病から治る病気へ、そして予防できる病気を目指す～
- ・vol.15 獣医師監修 社内資格制度「ペッツファースト社会化トレーナー」の導入について～子犬・子猫の社会化のために～
- ・vol.16 当社獣医師によるブリーダー向け往診事業について～ペットの健康を出生前から守る取り組み～
- ・vol.17 ペッツファーストは、ペットをご購入される前のご契約者様へ「ペットのお迎え前セミナー」を実施しています。～ペットの衝動買いを抑え、責任ある終生飼養のために～
- ・vol.18 2024年 ペッツファーストマンスリーペットレポート総括～ 売れ残りを一頭も出さない、病気や死亡事故を根絶するための私たちの取り組み～

- マンスリーペットレポート ([https://www.pfirst.jp/protected\\_monthlyreport.html](https://www.pfirst.jp/protected_monthlyreport.html))

■お問い合わせ先

【本掲載内容について】

ペッツファースト株式会社 広報部

電話番号 03-6417-3503 / E-mail pr@pfirst.jp

担当者 粕谷・西河・小野